



《校訓》 明朗 剛健 創造

太田中だより

令和4年3月24日発行 厚岸町立太田中学校 第13号

～めざす生徒像～

自ら考え、共に手を取り、ふるさとの未来をつくる太田の子

- ◆ 自分の考えをもち、自ら進んで学び、創意工夫する生徒 (知)
- ◆ 生命を尊重し、互いの存在を思いやり、協力して活動する生徒 (徳)
- ◆ 自己の心身の健康を保持増進し、体力の向上に努める生徒 (体)

4月の行事予定



日	曜	おもな行事
1	金	学年始休業(～6日)
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	着任式・始業式・入学式
8	金	委員会 大掃除週間(～23)
9	土	
10	日	
11	月	学校生活オリエンテーション 委員会
12	火	朝会(認証式) PTA 役員会(旧) 身体測定
13	水	学力テスト(全学年) 定時退勤日
14	木	1年生を迎える会 委員会
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	部活発会式 生徒会議案書学級討議
19	火	全国学力学習状況調査
20	水	代表者会議
21	木	委員会 避難訓練
22	金	
23	土	土曜授業 参観日・PTA 総会 定時退勤日
24	日	
25	月	朝会 家庭訪問・面談 尿検査
26	火	家庭訪問・面談 歯科検診 PTA 役員会(新)
27	水	生徒総会 ALT
28	木	旗の波作戦 家庭訪問・面談 委員会
29	金	昭和の日
30	土	

学年末学年始休業

明日より4月6日まで学年末学年始休業となります。季節の変わり目で気温の変化も激しくなります。また、人の往来が多くなる時期ですので、感染症対策に気を配るなど健康管理に十分留意しましょう。

学びの道を探り行く

校長 沼田 卓二

はじめに、おかげをもちまして3月15日に令和3年度 第75回卒業証書授与式を挙行し、盛会裏に終了することができました。江幡 満太田自治会長様、村田 吉盛PTA会長様のご臨席を賜り、実に3年振りに地域の方に見守られる中で、2名の卒業生を見送ることができたことに感謝の思いで一杯です。また何より嬉しかったことは、式に臨む卒業生の姿から、中学校の三年間でたくましく成長した証を感じることができたからです。この有終の美を飾った卒業生の姿から在校生たちも多くのことを感じ取ったことと思います。

さて、世界に目を向けますと、各種報道にあるとおりウクライナに対するロシアの軍事侵攻が始まり、ウクライナの人々の生活は一変しました。この原稿と向き合っている3月21日現在も激しい戦闘が続き多くの人々の命が失われています。日本に住む私たちにとって戦禍は遠い出来事のように思われますが、私たちの暮らしに様々な影響を及ぼします。各種報道によりますと、西側諸国の制裁措置によりロシアが輸出している原材料が取引停止となり、その影響によって世界的に原油や小麦の価格が上昇。また、そば粉も日本における全輸入量の10%近くがロシア産であることから、今後そば粉の価格上昇も予想されるとのことです。ロシア産の海産物も例外ではありません。一刻も早い停戦と、ウクライナの人々に平和が訪れることを願ってやみません。

SDGs(持続可能な開発目標)の17のゴールの一つに「平和と公正をすべての人に」があります。この目標を達成するための一つの契機として、生徒たちが今回のロシアとウクライナを巡る報道をどのように捉えているのかを、ご家庭でも話題にして頂けたらと思います。

16 平和と公正をすべての人に



ここからは私見になりますが、あるべき姿を目指し、様々な価値観に触れ、他者との共通点を見出し、行動をする。この積み重ねが、誰一人取り残さない世界を創る地球市民を育てるのではないかと思います。平和の種は子どもたちの身の回りにあふれています。意見が合わない人でも大切にできる。困っている人がいたら手を差し伸べる。他者を一人の人間として尊重する。そのような子どもが育つことによって「嫌な思い」をする子どもがいなくなる学校をつくり、やがて一人ひとりが大切にされる世の中の実現につながると思います。

※ここでの「嫌な思い」とは、子どもの成長につながる必要な課題や苦勞、困難ではなく、子どもの人権を侵害する行為全般を指しています。

今月のタイトルは太田中学校校歌の三番にある最後の一文から採りました。学びの道を探る目的は、この歌詞の前にある「平和の世界を創らんと」の歌詞に示されています。つまり『自他共の幸福を願い、平和な世の中を創るために学びの道を探り行く』と謳っているのです。太田中学校の校歌は平和の世界を創るために学び、行動する。このことの大切さを私たちに教えてくれています。この歌詞のもつ意味は70年以上の時を超え、混迷を極める現代社会に今もなお不朽の輝きを放っています。

新学習指導要領にも示されているとおり、これからの教育活動は、これまでの知識や情報を子どもたちに「どのように教えるのか」という教師が主語となる教育活動ではなく、子どもたちが「何を、どのように学ぶのか」という子どもを主語にした教育活動への転換が求められています。そして、教育は学校だけでは完結するものではありません。その点からも、繰り返しになりますが今回のウクライナを巡る報道や、平和な世界の実現についてご家庭で語り合っただけならば幸いです。

むすびに、保護者の皆様並びに地域の皆様におかれましては今年度一年間本校の教育活動にお力添え頂きありがとうございました。これからは太田中学校の伝統を引き継ぎ、ふるさとの未来を見つめ、子どもが育つ学校を目指し、教職員が一丸となって教育活動に取り組んでまいります。令和4年度も引き続き本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。